高知県感染症発生動向調査 (週報)

2016年 第41週 (10月10日~10月16日)

蚊やマダニに刺咬されないように注意しましょう!

屋外では長袖・長ズボンを着用するなど 肌の露出をできるだけ少なくしましょう。





★お知らせ

○咽頭結膜熱(プール熱)に気を付けて!

定点医療機関当たりの報告数は第 40 週の 1.30 から第 41 週は 0.93 と減少していますが、中央東で増加し、高知市では 6 週連続で注意報値を超えています。

特に、第39週と第40週は本県の定点医療機関当たりの報告数が全国で最も多いうえ、定点医療機関からのホット情報でもアデノウイルス感染症として26例の報告があるなど、アデノウイルスを原因とする感染症の報告が多い状態が続いているために注意が必要です。

咽頭結膜熱の主な症状は、発熱・咽頭炎・結膜炎で、その他に、リンパ節の腫れ、腹痛、下痢等が生じることもあります。

感染力は非常に強く、通常は患者の咳やくしゃみ等のしぶきに含まれるウイルスによる飛沫感染、あるいは、ウイルスが付着した手やタオル等の患者が触れたものを介した接触感染により結膜あるいは上気道から感染します。

以下のことに気を付け、感染予防に努めましょう。

- 1)流行時には流水と石けんによる手洗い、うがいを励行しましょう。
- 2) 感染者との密接な接触は避けましょう。
- 3) タオル等は別のものを使い、共用しないようにしましょう。

○手足口病に気を付けて!

定点医療機関当たりの報告数は第40週の0.33から第41週は0.40と増加しています。中央西で増加し、中央西では注意報値を超えています。

手足口病は、てのひら・足の裏等に米粒大の水ぶくれを含む発しん、口の中に口内炎が出現する他、38℃以下の発熱や食欲不振、のどの痛み等が見られますが、一般に軽症で、3~7 日でおさまります。 重症化はまれですが、合併症として急性脳炎や心筋炎があります。

主に飛沫感染、接触・経口感染により感染が拡大します。幼稚園、保育園、学校等の集団生活ではうがい、手洗い等の予防対策に加えて、タオル・コップ等の共用を避ける等して、感染予防に努めてください。

○マイコプラズマ肺炎に気を付けて!

基幹定点からは8例の報告があり、また、定点医療機関からのホット情報でも29例の報告があるなど、引き続き報告数の多い状態が続いていることから、注意が必要です。

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマによって起こる呼吸器感染症で、幼児期から学童期によく見られます。頑固な咳嗽と発熱を主症状に発病し、中耳炎、胸膜炎、心筋炎、髄膜炎などの合併症を生じることがあります。

感染経路は主に飛沫感染や接触感染です。保育園や幼稚園、学校、あるいは家庭内等での濃厚な接触で感染します。患者の感染力は発症から 10 日前後(症状持続の例でも 6 週間程度)で消失しますが、この間は濃厚な接触は避けるようにしましょう。

予防対策は手洗い、うがい、咳エチケットを励行しましょう。

☆マダニの感染症 (日本紅斑熱・SFTS) に注意!

日本紅斑熱の報告が1例ありました。

日本紅斑熱や SFTS (重症熱性血小板減少症候群) はマダニが媒介する感染症です。

すべてのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、ダニに咬まれないようにすることが 感染の予防になります。予防するためのワクチン等はありません。まだ、マダニが活発に活動する時 期です。引き続き、注意が必要です。

野山や畑、草むらなどに出かけるときは、次のことに注意しましょう。

- ▲肌を出さないよう、長袖、長ズボン、長靴、帽子、手袋等を着用しましょう。
- ▲マダニ用の忌避剤を使用しましょう。
- ▲草の上に直接座ったり、寝転んだりしない。敷物を利用しましょう。
- ▲脱いだ上着やタオルは、不用意に地面や草の上に置かないようにしましょう。
- ▲帰宅後は、すぐに入浴してマダニに咬まれていないか確認し、新しい服に着替えましょう。
- ▲野外から帰った犬や猫はダニが付着している可能性があるので、よく見てあげましょう。
- ▲吸血中のマダニを見つけたら、無理に引き抜こうとせず、医療機関を受診し処置してもらいましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして(数日~2週間程度)発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと(ダニに咬まれたこと)を申し出て下さい。

●高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症

http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html

●高知県衛生研究所 マダニによる感染症の注意喚起パンフレットを作成しました。 http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2016061300063.html

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症 (上位疾患) 🛨 : 急増 💛 : 増加 💛 : 横ばい 🗡 : 減少 🛨 : 急減

41週 (10月10日~10月16日)

疾病名	推移	定点当たり 報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	→	3. 43	安芸、中央東、高知市で増加しています。
RS ウイルス感染症	→	1. 50	幡多、須崎で増加しています。
咽頭結膜熱	*	0. 93	中央東で増加し、高知市では注意報値を超えています。
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	→	0.73	安芸、須崎、高知市で増加しています。
流行性耳下腺炎	+	0.43	幡多で増加しています。

★地域別感染症発生状況



★気を付けて!

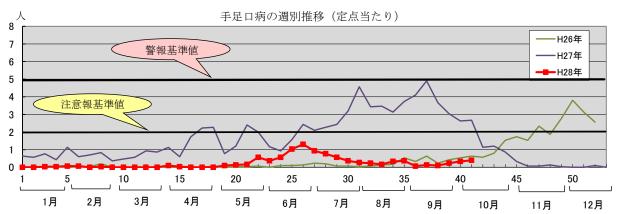
〇咽頭結膜熱 第 41 週: 0.93 (注意報值:1.00 警報值:3.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.93 (前週: 1.30) と減少していますが、中央東 0.71 (前週: 0.43) で増加し、高知市 1.82 (前週: 2.64) では注意報値を超えています。



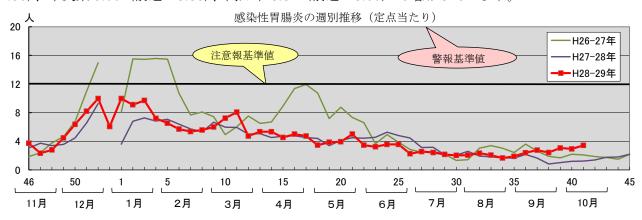
○手足口病 第 41 週: 0.40 (注意報値: 2.00 警報値: 5.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.40 (前週:0.33) と増加しています。中央西 3.33 (前週:1.00) で増加し、中央西では注意報値を超えています。



○感染性胃腸炎 第 41 週: 3.43 (注意報値:12.00 警報値:20.00)

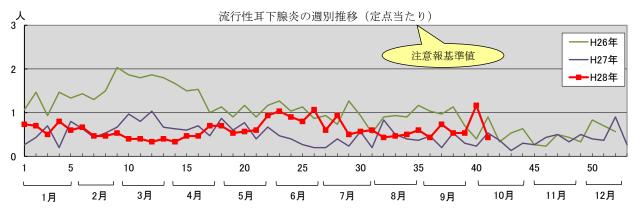
定点医療機関からの報告数は定点当たり 3.43 (前週: 2.93) とほぼ横ばいですが、安芸 6.00 (前週: 1.50)、中央東 5.00 (前週: 3.86)、高知市 3.82 (前週: 3.00) で増加しています。



○流行性耳下腺炎 第 41 週: 0.43 (注意報值:3.00 警報值:6.00)

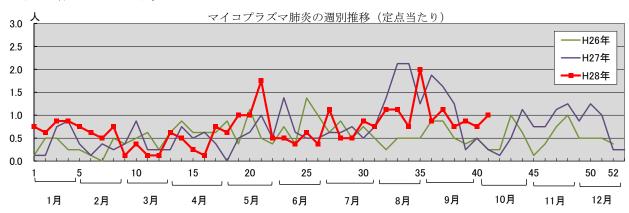
定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.43 (前週:1.17) と急減していますが、幡多 1.00 (前週:0.40) で増加しています。

全国情報では定点当たり第 39 週 1.20、第 40 週 1.11 と過去 5 年間の同時期と比較してもかなり多い状態が続いています。



<u>○マイコプラズマ肺炎 第 41 週: 1.00 (注意報値:− 警報値:−)</u>

定点医療機関からの報告数は定点当たり 1.00 (前週:0.75) と増加しています。高知市 1.20 (前週:0.20) で増加しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28 年は第 53 週まであるため、グラフ横軸に第 53 週を挿入しています。 そのため、H25-H26 年と H26-H27 のグラフ第 52 週~第1 週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
41	百日咳	5	女	幡多	Bordetella pertussis

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
40	インフルエンザ様疾患	1	女	幡多	Human metapneumovirus

★全数把握感染症

第 41 週

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	102	70歳代男	中央東
乙炔		1	103	80歳代女	高知市
4類	日本紅斑熱	1	11	80歳代女	安芸

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報						
	あけぼのクリニック	マイコプラズマ肺炎2例(8歳、43歳)						
中央東	早明浦病院小児科	ヒトメタニューモウイルス感染症1例(1歳女)						
十大朱	高知大学医学部附属病院小児科	マイコプラズマ肺炎1例(12歳女)						
	野市中央病院小児科	マイコプラズマ肺炎1例(12歳男)						
		マイコプラズマ肺炎11例(4歳女、6歳女2人、8歳男、 8歳女3人、11歳女、12歳女、17歳女、37歳女)						
	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス感染症19例(0歳女、1歳男2人、1歳女、 2歳男2人、2歳女5人、3歳男女2人、5歳女、6歳女、8歳女、 10歳女)						
高知市		カンピロバクター腸炎2例(6歳女、7歳女)						
	福井小児科・内科・循環器科	RSウイルス感染症1例(1歳男)						
		アデノウイルス感染症1例(3歳男)						
	細木病院小児科	ノロウイルス2例(1歳男女)						
	三愛病院小児科	マイコプラズマ肺炎2例(3歳男、6歳女)						
	高知医療センター小児科	RSウイルス感染症5例 (9ヶ月男、11ヶ月男女、1歳女、3歳男)						
		帯状疱疹1例(6歳女)						
中央西	日高クリニック	マイコプラズマ肺炎1例(5歳男)						
		アデノウイルス扁桃炎1例(2歳男)						
	石黒小児科	マイコプラズマ肺炎3例(11歳女2人、15歳女)						
		滲出性扁桃炎(アデノ)5例						
須 崎	もりはた小児科	流行性角結膜炎1例						
		マイコプラズマ肺炎3例(3歳女、5歳女、7歳女)						
	さたけ小児科	マイコプラズマ1例 (3歳男)						
幡多	こいけクリニック	カンピロバクター陽性1例(67歳女※40週検出)						
	[~ v · t) / y — y /	マイコプラズマ肺炎4例(1歳男、2歳男、4歳男、15歳女)						

麻しん(はしか)の流行が問題となっています。

麻しんは、発熱・咳・鼻水といった風邪のような症状の後、高熱と発疹が現れ、空気感染、飛沫感染、接触感染により感染し、その感染力は非常に強いと言われています。

発熱等の麻しんが疑われる症状が現れた場合は、医療機関に直ぐに受診をするのではなく、必ず事前にかかりつけ医等に電話連絡でその旨を伝え、指示に従い、医療機関を受診しましょう。

- ・麻しんは予防接種が有効です。定期接種は対象年齢になったら確実に2回受けましょう。
- ・麻しんは感染力が非常に強い感染症です。自分が感染しないためだけでなく、周りの人に感染を 広げないためにも予防接種は重要です。予防接種を受けてない方や、予防接種が1回だった年代 の方(概ね26歳以上の方)については十分な免疫を獲得してない可能性があることから、特に 注意が必要です。
- 妊娠中に麻しんに罹患すると、一般に重症化することが知られています。妊娠中の接種はできませんが、これから妊娠を計画されている方は予防接種を受けることをご検討ください。
- ・麻しん流行時には外出を避け、人込みに近づかないようにするなど注意が必要です。特に感染者 が多く報告されているところへ出かける際は注意しましょう。
- ○高知県健康対策課 麻しん・風しんに関する情報
 - http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/kansen-yobousessyumashin.html
- ○厚生労働省 麻しん(はしか)に関するQ&A
 - http://www.mhlw.go.jp/qa/kenkou/hashika/index.html
- ○国立感染症研究所感染症疫学センター 麻しんに関する緊急情報(2016年8月25日) http://www.nih.go.jp/niid/ja/id/655-disease-based/ma/measles/idsc/6709-20160825.html

第33週以降、全国各地で麻しんの患者報告が相次いでおり、今年の全国の麻しん患者報告数は第40週時点※で144名と、昨年1年間の報告数35名を大きく超えています。

第 40 週の報告数は 5 名となっており、それぞれの報告数は、東京都 2 名、愛知県 1 名、大阪府 1 名、熊本県 1 名となっています。

国立感染症研究所麻しん情報(速報)は次のとおり発信されています。

- ○国立感染症研究所 感染症発生動向調査 (IDWR) 麻しん第 40 週速報 http://www0.nih.go.jp/niid/idsc/idwr/diseases/measles/measles2016/meas16-40.pdf
- ○国立感染症研究所 麻疹ウイルス分離・検出速報 http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-measles.html
 - ※報告数は感染症発生動向調査システムWISH公開データ(週報)を掲載しているため、速報として公開されている報告数とは一致しない場合があります。

■ジカウイルス感染症の定義と発生届について

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行令が一部改正され、平成28年2月15日からジカウイルス感染症が全数報告の対象となる四類感染症となりました。 診断した医師は直ちに最寄りの保健所又は福祉保健所に届け出ることをお願いします。

●国立感染症研究所 ジカウイルス感染症関連情報

http://www.nih.go.jp/niid/ja/

●厚生労働省検疫所 海外感染症情報

http://www.forth.go.jp/index.html

●外務省 海外安全ホームページ

http://www.anzen.mofa.go.jp/

●国立国際医療研究所センター ジカ熱/ジカウイルス感染症 2016 年 9 月 6 日更新 http://www.dcc-ncgm.info/topic/topic-ジカウイルス感染症/

●ジカウイルス感染症 定義(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-04-44.html

●ジカウイルス感染症 発生届様式 (PDF)

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/pdf/01-04-44b.pdf

●ジカウイルス感染症について(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html

●政府広報オンライン 何が危ない?どう防ぐ?ジカウイルス感染症 (ジカ熱) 予防のポイント http://www.gov-online.go.jp/useful/article/201605/2.html

●外務省海外安全ホームページ マレーシアにおけるジカウイルス感染症の発生 2016 年 9 月 4 日更新 http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo 2016C240.html

第39号(9月26日~10月2日)

1類感染症:報告なし2類感染症:結核393例

3類感染症:コレラ1例、細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症66例、腸チフス4例、

パラチフス1例

4類感染症:E型肝炎3例、A型肝炎3例、チクングニア熱2例、つつが虫病2例、デング熱10例、

日本紅斑熱13例、日本脳炎4例、レジオネラ症52例、レプトスピラ症3例

5類感染症:アメーバ赤痢12例、ウイルス性肝炎2例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症26例、

急性脳炎2例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症8例、 後天性免疫不全症候群20例、ジアルジア症1例、侵襲性インフルエンザ菌感染症3例、

侵襲性肺炎球菌感染症15例、水痘(入院例に限る)3例、梅毒69例、

播種性クリプトコックス症4例、破傷風4例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症3例、

風しん1例、麻しん6例

報告遅れ: E型肝炎2例、つつが虫病1例、日本紅斑熱5例、ボツリヌス症1例、レジオネラ症15例、レプトスピラ症2例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症10例、急性脳炎5例、

劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例、

水痘(入院例に限る)2例、梅毒27例、播種性クリプトコックス症2例、

バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん2例、麻しん4例、

薬剤耐性アシネトバクター感染症1例

高知県感染症情報(59定点医療機関)

レサ	保健所 保練所 インフルエンザ	安芸	中央東					第41週 平成28年10月10日(月)~平成28年10月16日(日)											
いサ"	インフルエンザ			高知市	中央西	須崎	幡多	計		前 週		全国(40週)		高知県(41週末累計) H28/1/4~H28/10/16		全国(40週末累計) H28/1/4~H28/10/9			
ug:								()	()	1,111 (0.23)	14,927 (310.98)	1,571,721 (320.69)		
	咽頭 結 膜 熱		5	20	2	1		28 (0.93)	39 (1.30)	806 (0.26)	494 (16.47)	54,107 (17.28)		
	A群溶血性レンサ球菌 咽 頭 炎	4	1	14		3		22 (0.73)	21 (0.70)	5,038 (1.61)	2,048 (68.27)	289,339 (92.41)		
應	感染性胃腸炎	12	35	42	1	2	11	103 (3.43)	88 (2.93)	11,574 (3.69)	5,351 (178.37)	670,442 (214.13)		
7	水痘	1	1	6				8 (0.27)	10 (0.33)	895 (0.29)	330 (11.00)	46,638 (14.90)		
Ŧ	手 足 口 病	1		1	10			12 (0.40)	10 (0.33)	4,350 (1.39)	296 (9.87)	42,138 (13.46)		
小児科 佐	伝染性紅斑		1	1				2 (0.07)	9 (0.30)	374 (0.12)	284 (9.47)	46,919 (14.99)		
9	突 発 性 発 疹	1	2	6	1	1	1	12 (0.40)	10 (0.33)	1,489 (0.47)	423 (14.10)	60,516 (19.33)		
百	百 日 咳							()	3 (0.10)	65 (0.02)	94 (3.13)	2,340 (0.75)		
^	ヘルパンギーナ			2				2 (0.07)	11 (0.37)	3,210 (1.02)	734 (24.47)	121,216 (38.71)		
Ħ	流行性耳下腺炎		5	2		1	5	13 (0.43)	35 (1.17)	3,478 (1.11)	754 (25.13)	120,942 (38.63)		
R	RSウイルス感染症	1	17	21	1	1	4	45 (1.50)	44 (1.47)	7,273 (2.32)	802 (26.73)	58,872 (18.80)		
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	9 (0.01)	()	333 (0.48)		
	流行性角結膜炎							()	()	665 (0.97)	17 (5.67)	20,062 (29.12)		
組	細菌性髄膜炎							()	()	17 (0.04)	10 (1.25)	388 (0.83)		
#	無菌性髄膜炎							()	()	30 (0.06)	33 (4.13)	1,064 (2.27)		
	マイコプラズマ肺炎			6			2	8 (1.00)	6 (0.75)	631 (1.33)	237 (29.63)	12,727 (27.19)		
	クラミジア 肺 炎 (オウム病は除く)							()	()	9 (0.02)	28 (3.50)	251 (0.54)		
提	感染性胃腸炎							()	()	4 (0.01)	236 (29.50)	4,821 (10.30)		
(小児科	計 科定点当たり人数)	20 (10.00)	67 (9.56)	121 (10.46)	15 (4.99)	9 (4.50)	23 (4.20)	255	8.23)			41,028		27,098	697,99)	3,124,836			
(小児科	前 週 科定点当たり人数)	10 (5.00)	82 (11.44)	130	18	14 (7.00)	32		.20 /	286	9,33)				3011007				

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関)定点当たり人数

	定点当たり 第41週											
定点名	保健所疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	#H	前 週	全国(40週)	高知県(41週末累計) H28/1/4~H28/10/16	全国(40週末累計) H28/1/4~H28/10/9
インフル エンサ	インフルエンザ									0.23	310.98	320.69
	咽 頭 結 膜 熱		0.71	1.82	0.67	0.50		0.93	1.30	0.26	16.47	17.28
	A群溶血性レンサ球菌 咽 頭 炎	2.00	0.14	1.27		1.50		0.73	0.70	1.61	68.27	92.41
	感染性胃腸炎	6.00	5.00	3.82	0.33	1.00	2.20	3.43	2.93	3.69	178.37	214.13
	水痘	0.50	0.14	0.55				0.27	0.33	0.29	11.00	14.90
	手 足 口 病	0.50		0.09	3.33			0.40	0.33	1.39	9.87	13.46
小児科	伝 染 性 紅 斑		0.14	0.09				0.07	0.30	0.12	9.47	14.99
	突 発 性 発 疹	0.50	0.29	0.55	0.33	0.50	0.20	0.40	0.33	0.47	14.10	19.33
	百 日 咳								0.10	0.02	3.13	0.75
	ヘルパンギーナ			0.18				0.07	0.37	1.02	24.47	38.71
	流行性耳下腺炎		0.71	0.18		0.50	1.00	0.43	1.17	1.11	25.13	38.63
	RSウイルス感染症	0.50	2.43	1.91	0.33	0.50	0.80	1.50	1.47	2.32	26.73	18.80
眼科	急性出血性 結 膜 炎									0.01		0.48
	流行性角結膜炎									0.97	5.67	29.12
	細菌性髄膜炎									0.04	1.25	0.83
	無菌性髄膜炎									0.06	4.13	2.27
基幹	マイコプラズマ肺炎			1.20			2.00	1.00	0.75	1.33	29.63	27.19
	クラミジア 肺 炎 (オウム病は除く)									0.02	3.50	0.54
	感染性胃腸炎									0.01	29.50	10.30
小切	計 見科定点当たり人数)	10.00	9.56	10.46	4.99	4.50	4.20	8.23			697.99	
(小)	前 週 児科定点当たり人数)	5.00	11.44	11.72	6.00	7.00	5.80		9.33			

発行:高知県感染症情報センター(高知県衛生研究所) 〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1 (保健衛生総合庁舎2階) TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869